

はびきの

広報

11 2014
NOVEMBER No.637

2014年11月1日発行

発行 羽曳野市 市長公室 秘書課
〒583-8585 羽曳野市菅田4-1-1
072-958-1111 (代表)

URL <http://www.city.habikino.lg.jp/>
E-mail mailbox@city.habikino.lg.jp



カメラ付き携帯電話のバーコードリーダーで左のQRコードを読み取ってください。「モバイルシティはびきの」をご覧いただけます(QRコードは商標登録の登録商標です)。

今月の表紙

市内全域から集うスポーツクラブ対象は高学年と中学生で、種目は女子サッカーと男子硬式テニス。問合せは特命PT☎958-1111内線3530まで。



▲羽曳野中学校グラウンドで(女子サッカー)

もくじ

- 2 市長挨拶・決算公表
- 5 給付金・保育園入園案内
- 6 市民マラソン大会・シネマプロジェクト
- 7 きらりはびきの・図書館だより
- 8 いきいき介護フォーラム
- 9 きらきらシニア
- 10 国民年金・かかりつけ健康メール・東洋医療
- 11 健康第一!きっかけは特定健診
- 12 子育て支援センター
- 14 健康ファミリー
- 16 街かどから
- 17 LICはびきの
- 18 制度・お知らせ・スポーツ
- 31 相談窓口
- 32 市民のページ・風流韻事
- 33 社協・警察



羽曳野市

市章は「羽」の文字を抽象的に図案化し、シンプルに表現したもの。鳥のはばたきのような市の雄飛と発展性を示しています。

面積…26.44km²

人口…115,291人(前月比-22)

男… 55,073人

女… 60,218人

世帯… 49,049

(平成26年9月30日現在)

「市民の皆様のご理解ご協力に感謝いたします」

平成25年度の決算を市議会にて認定いただきました。市長就任後まもなく黒字に転換し、以降平成18年度から8年続けての黒字決算にすることができました。

我が国が成熟した社会になる一方で、少子高齢化を伴う人口減少や景気の停滞、自己実現を目指すライフスタイルの多様化など、新たな行政テーマが頻出するなかでの安定した財政運営は、市民の皆様のご理解と、職員のみならず公共サービスに携わる全ての担い手のたゆまぬ努力の成果だと思っています。

自らの行政運営の姿勢を振り返り、今までの軌跡に決しておごることなく、常に謙虚に見直しながら、骨太で柔軟な財政運営を継続してまいります。

羽曳野市長 北川 嗣雄

会計別歳入歳出決算額

(千円・%)

会計名	歳入		歳出		歳入歳出 差引額
	決算額	前年度比	決算額	前年度比	
一般会計	43,063,082	111.1	41,940,636	108.7	1,122,446
国民健康保険特別会計	14,859,473	99.4	14,014,512	100.7	844,961
と畜場特別会計	230,460	94.6	230,460	94.6	0
財産区特別会計	1,983,586	93.6	124,065	89.9	1,859,521
公共下水道特別会計	4,127,614	109.9	4,127,614	109.9	0
介護保険特別会計	8,460,226	103.1	8,373,602	102.6	86,624
健康ふれあいの郷事業特別会計	177,305	214.9	177,305	214.9	0
土地取得特別会計	217,429	131.2	217,429	131.2	0
後期高齢者医療特別会計	1,426,480	103.2	1,376,255	103.5	50,225

会計名	総収益		総費用		純損益
	決算額	前年度比	決算額	前年度比	
水道事業会計	2,158,726	98.2	1,827,874	95.2	330,852

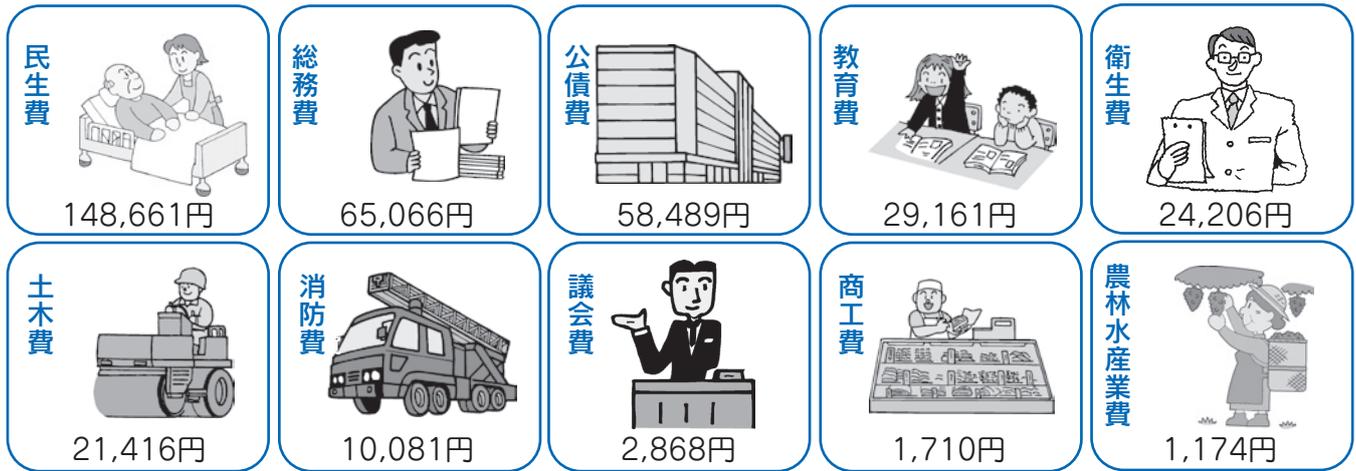
一般会計決算

歳入:430億6,308万円 歳出:419億4,064万円 実質収支:11億2,043万円

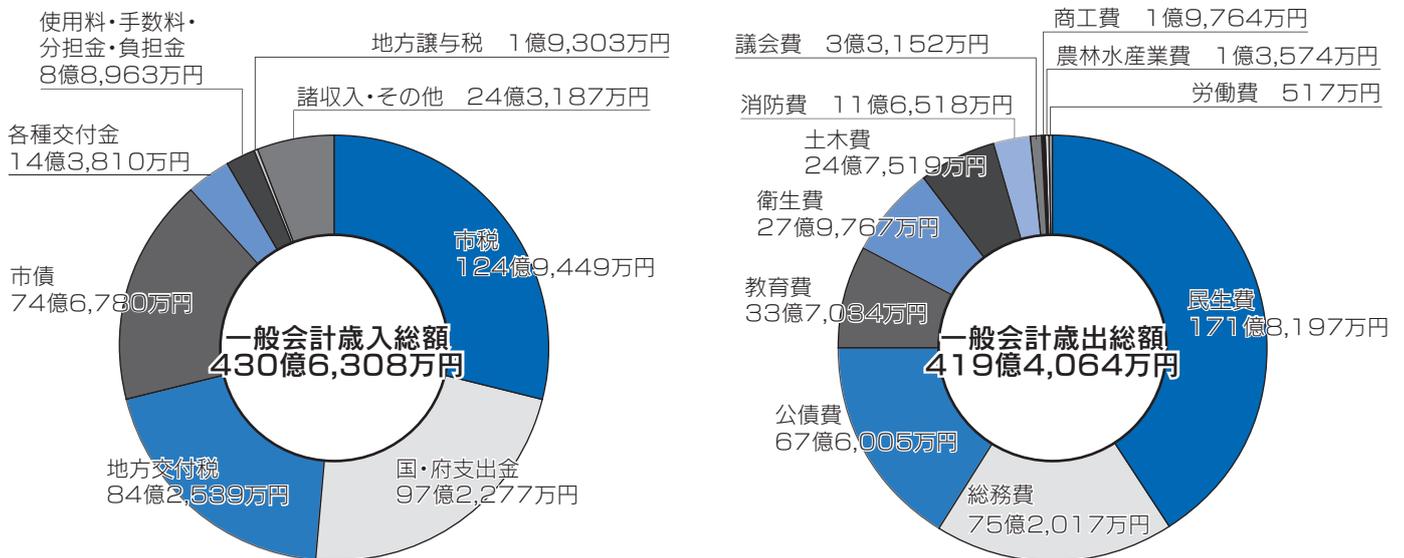
※実質収支:歳入歳出差引額から翌年度へ繰り越すべき助源を差し引いたもの

市民ひとりあたりの決算額

※H26.3末現在の人口で算出しています。



一般会計歳入歳出決算の内訳



平成25年度 主要事業

- 百舌鳥・古市古墳群の世界遺産登録推進 591万円
- 竹内街道“はびきの”の夕べの開催 100万円
- 軽トラック市開催 100万円
- 防災関連事業 3,052万円
- 健康はびきの21計画及び食育推進計画策定 348万円
- 中学校給食事業 4,580万円
- 学校施設の耐震補強等改修事業 5億9,694万円
(24年度からの繰越事業を含む)
- 埴生小学校移転整備事業 2億8,579万円
(24年度からの繰越事業)
- 恵我ノ荘駅周辺整備事業 2,936万円
- 道路整備事業 1億8,744万円
(24年度からの繰越事業を含む)
- 橋梁長寿命化修繕計画策定事業 447万円



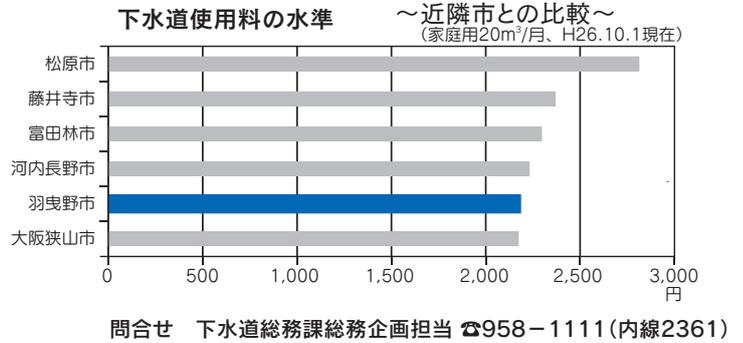
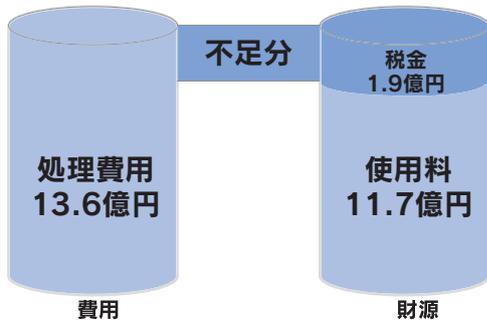
平成25年度 下水道事業の財政状況 ～公共下水道特別会計決算より～

- 歳入と歳出の決算額はともに41億2,761万4千円で、前年度と比べ3億7,172万円(9.9%)増加
- 増加の主な要因は、建設費と借入金返済によるもの



～汚水処理に要した費用と財源～

- 家庭や事業所などからの排水をきれいにするための費用13.6億円
- これらの費用は使用料でまかなわれるべきものですが、1.9億円が不足したため税金で補填



指標でみる羽曳野市の財政状況

「財政健全化法」では、地方公共団体の財政の健康状態を表す「健全化判断比率」(4つの指標)を定めています。そして、この健全化判断比率には財政の健全度合いを測る基準が次のとおり2つあります。

- ①早期健全化基準
財政健全化計画を立てて、自主的な改善努力が必要
- ②財政再生基準
財政再生計画を立てて、国の関与を受け、確実な再生が必要

また、水道や下水道などの公営企業会計には、「資金不足比率」という経営状況をチェックする指標があります。
平成25年度決算における本市の各指標は、いずれの基準もクリアしています。しかしながら、本市を取り巻く財政状況は依然として地方交付税など依存財源に頼った財政運営体質と言えることができ、決して安定した状態にあるとは言えません。そのため、今後も健全な財政運営に取り組まなければなりません。

■羽曳野市平成25年度決算に係る健全化判断比率および公営企業資金不足比率

指 標	概 要	羽曳野市の比率	早期健全化基準	財政再生基準	
健全化判断比率	実質赤字比率	標準財政規模に対する、普通会計赤字額の比率	赤字額なし	12.23%	20.00%
	連結実質赤字比率	標準財政規模に対する、全会計の赤字額の比率	赤字額なし	17.23%	30.00%
	実質公債費比率	標準財政規模に対する、借入金返済額などの比率	10.4%	25.0%	35.0%
	将来負担比率	標準財政規模に対する、将来に負担すべき実質的な負債額の比率	57.1%	350.0%	
資金不足比率	(対象会計)	概 要	羽曳野市の比率	経営健全化基準	
	水道事業会計	各会計における、事業の規模に対する、資金不足額の比率	資金不足なし	20.0%	
	と畜場特別会計		資金不足なし		
公共下水道特別会計	資金不足なし				

※普通会計とは、一般会計、土地取得特別会計および健康ふれあいの郷事業特別会計の3会計を合わせたものを言います。
※標準財政規模とは、市税や普通交付税など、標準的な状態で通常収入されるであろう一般財源の規模を示すものです。